

令和3年度 富士宮市立人穴小学校グランドデザイン

児童の実態

- 明るく素直で優しく、礼儀正しい
- 学年をこえ、仲よく助け合うことができる
- 縦割り活動により、リーダー性・責任感が育っている
- ▲大勢の中では自分を表現することが苦手
- ▲正しく聞き取ることが苦手
- ▲論理的に話す、根拠を明確にして話す、分かりやすく話すことが苦手

国・県・市の施策

国：生き抜く力の育成 自立・協働・創造
 県：有徳の人づくり
 自立した人・関わる人・行動する人
 市：富士山を心に、夢をもって生きる子供
 継承と発展・縦の接続と横の連携・環境素材の活用

保護者・地域の実態・願い

- 学校を地域の核として、多面的に支えていきたい
- 小規模校のよさを生かし、家庭・地域と連携して子供を育てたい
- 自然に触れること、感性を育むことが大切にしたい
- 計画的に努力ができる子、基本的な生活習慣が身に付いた子、家庭学習の習慣が身に付いた子になってほしい

西富士中学校区小中学校教育目標
志を持って 未来を拓く人

人穴小学校教育目標

自らをきたえ 共に生きる子

重点目標

<自ら学ぶ子・自ら関わる子・共に育む子>

Plan (計画)

<身に付ける資質・能力>

知識・技能

(1)知識・技能を自分ごととして学び 確実に習得する力

- ①友達と相談しながら学ぶ子
- ②違いや共通点を見付けながら正しく聴く子
- ③多面的に考える子

思考力・判断力・表現力

(2)学びを生かし、根拠を明確にした考えを伝え合う力

- ④既習事項を生かす子
- ⑤自分で判断して行動する子
- ⑥分かりやすく表現する子

学びに向かう力・人間性等

(3)互いのよさを認め合い、やり抜く力

- ⑦目標に向かって、粘り強く取り組む子
- ⑧自分を振り返り、試行錯誤する子
- ⑨健康安全な生活習慣を身に付ける子

変革を起こす力
 新たな価値を創造する力 ・ 対立やジレンマを克服する力 ・ 責任ある行動をとる力

人穴小学校経営目標

関わり合いの中で、共に伸びゆく学校づくり

Do (実行)

GIGAスクール構想 1人1台PC活用

【自ら学ぶ】

- 学習意欲や多様な考えを引き出す単元構想と授業
- 子供自身が先を見通し活躍する授業(複式学級の授業の在り方)
- 意欲と定着に結び付く家庭学習(習慣化、読書)
- 学びを実感できるノート指導や振り返り(形成的評価、ゴールの共有)
- 情報活用能力の育成とICTの効果的な活用(メディアタイム)

【自ら関わる】

- 既習事項との関連、教科横断的な学びを実現する指導計画の工夫
- 他との関わりを重視する授業の実践(縦割り、教え合い、地域資源・人材活用)
- 豊かな言語能力の育成(NIEの取組、お話の泉)
- 話す力の育成(根拠、論理的、5W1H、オンライン会議)
- 質の高い読書の定着(おすすめの本、学校司書連携)

【共に育む】

- 協働性を育む行事や学習方法の工夫(子供が活躍・体験する場)
- 適切な支援と評価方法の工夫(個に応じた課題や目標、学びをつなぐ振り返り)
- 気持ちのよい挨拶やきれいな言葉(さん付け、適切な言葉遣い)
- よりよい未来に向かう心の育成(考え議論する道徳、SDGs, LGBTQ)
- 自主的な健康管理の日常化(手洗い・うがい、専門家連携健康教育)

【家庭連携】

- 家庭生活
 - ・基本的な生活習慣(挨拶、言葉、就寝時刻、食習慣)
 - ・GIGAスクール構想の共有
 - ・メディア利用の約束(メディアコントロール)
 - ・生活表の記入と振り返り
 - ・安全な生活習慣(交通事故、遊び)
- 家庭学習
 - ・毎日の学習の習慣化
 - ・読書環境を整える
 - ・1人1台PCの有効活用

【地域連携】

～学校地域協働体制の継承と発展～

- 合同行事
 - ・運動会
 - ・学校と地域のつどい
 - ・防災訓練
- 協力行事
 - ・敬老会訪問
 - ・ふれあい給食(広見)
 - ・歳末ふれあい訪問
 - ・廃品回収
 - ・地区祭・牛魂祭
- 地域人材の活用
 - ・読み聞かせボランティア
 - ・学校評議員会
 - ・地区体育協会
 - ・防災連絡会
 - ・青少年健全育成会
 - ・富士山学習・生活科講師(自治会・開拓農協)
 - ・体験活動講師(茶・窯業)
 - ・プール清掃(消防団)

※コーディネーターの育成と活用

【学校連携】

- 小規模校連携事業
 - ・小規模校連携(フレンドシップ)(人穴小、白糸小、上井出小、稲子小)
 - ・過小規模校連携(人穴小、井之頭小、栗倉分校)
- 中学校区4校連携(小中連携)(人穴小、白糸小、上井出小、西富士中)
 - ・「教育の日」卒業生一日先生の日
 - ・合同学校保健委員会
 - ・入学説明会
- 北部6校連携(富士山麓サミット)(人穴小、白糸小、上井出小、井之頭小、西富士中、井之頭中)
 - ・富士山学習発表会

Check (評価)

Action (実行)

【評価方法】

- ・学力学習状況調査(児)
- ・定着度調査(児)
- ・学校評価(児・保・教)
- ・学校評議員会(地域)
- ・自己目標シート(教)
- ・校内研修(教)
- ・行事後の振り返り(児・教)
- ・PTA全体会(保)
- ・教育課程編成会議(教)

【学校評価重点項目】

- ・目差す児童の姿
- 1-(1) 学校が楽しい 100%
- ・重点目標関連項目
- (1)-1 考えを持てる 80%
- (1)-2 言葉の力 90%
- (2)-1 学びを生かす 100%
- (2)-2 意見を伝える 90%
- (3)-1 計画的に努力 100%
- (3)-2 基本的な生活習慣 90%

※適切な評価項目の設定

【改善方法】

- 評価結果の共有
 - ・職員会議・学校評議員会・PTA全体会
- 目標・手立ての再考・修正
 - ・企画会議・職員会議・PTA全体会
- 手立ての修正・方向性の共有

【改善の視点】

- ・子供の学びをつなぐ
- ・適切な評価場面(形成的評価・振り返り)
- ・行事の反省を生かした次年度案の作成
- ・次年度の課題把握と手立ての立案